

お客様のものづくりへの貢献のために、 「世の中にないものは自分たちで創る」

私たちソディックは、数値制御 (NC) 放電加工機メーカーの先駆者であり、創業以来、放電加工制御の研究、NC 装置開発などにより加工精度を飛躍的に向上させ、世界中のものづくりに貢献している企業です。

ソディックは、社名の由来でもある「創造」「実行」「苦労・克服」を社是としています。そこには、『新しいことを「創造」し、それらを「実行」によって形にし、その過程の「苦労」を「克服」して、お客様の「ものづくり」に貢献する』という当社の強い理念が込められています。当社のお客様に喜んで使っていただける機械づくりを使命として、常に社是である「創造」「実行」「苦労・克服」を実践することで、自社技術をさらに向上させ、新たな製品群への応用開発を進め、ものづくりを通して社会に貢献してまいります。



価値創造ストーリー

- 03 価値創造の変遷/ソディックのあゆみ
- 05 ソディックの事業
- 07 ソディックの価値創造プロセス



戦略・ビジネスモデル

- 09 トップメッセージ
- 13 中期経営計画2024-2026
- 17 COOメッセージ
- 19 CFOメッセージ
- 23 セグメント概況
- 25 セグメント別戦略
- 25 工作機械事業
- 27 産業機械事業
- 29 食品機械事業
- 31 その他事業
- 32 ソディックエフ・ティ



ソディックグループの価値創造

- 33 技術戦略
- 35 知的財産戦略
- 37 マテリアリティ(重要課題)
- 39 サステナビリティ方針・体制・取り組み
- 41 価値創造事例
- 47 環境への取り組み
- 49 TCFD開示
- 51 社会への取り組み
- 55 サプライチェーンへの取り組み
- 57 マネジメント体制
- 59 社外取締役鼎談
- 62 コーポレート・ガバナンス
- 67 リスクマネジメント

10年サマリー

69

連結財務諸表

- 71 連結貸借対照表
- 73 連結損益計算書
- 74 連結包括利益計算書
- 75 連結株主資本等変動計算書
- 76 連結キャッシュ・フロー計算書

会社概要/株式情報

77

グループ・ネットワーク

78

発行責任

79



報告範囲
株式会社ソディック及び連結子会社

報告対象期間
2023年12月期の実績を主な報告対象としています。一部、当該期間以前もしくは以後直近の内容も含まれています。

情報開示体系
本レポートは、当社の企業価値向上のために重要性の高い情報を厳選して掲載しています。



参照ガイドライン
本レポートは、投資家との共通言語となる「価値協創ガイダンス」を参考に制作しました。「価値協創ガイダンス」とは、企業と投資家をつなぐ「共通言語」であり、企業(企業経営者)にとっては、投資家に伝えるべき情報(経営理念やビジネスモデル、戦略、ガバナンス等)を体系的・統合的に整理し、情報開示や投資家との対話の質を高めるための手引です。



決算期の変更について
当社は、2017年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、2017年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、当社ならびに3月決算であった連結子会社及び持分法適用関連会社は9カ月(2017年4月1日～2017年12月31日)、12月決算の連結子会社は12カ月(2017年1月1日～2017年12月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。12月決算の連結子会社は中国の連結子会社7社が該当します。

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている、ソディック及びソディックグループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績などは、さまざまな要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。実際の業績などに影響を与える重要な要因には、ソディック及びソディックグループの事業領域を取り巻く日本、北南米、欧州、中華圏及びアジアなどの経済情勢、ソディックの製品・サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でソディックが引き続きお客様に受け入れられる製品・サービスを提供できる能力、為替レート、世界的な感染症の拡大などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。